



平成26年11月11日

各 位

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン  
代表者 代表取締役社長 木村 輝美  
(コード番号 9027)  
問合せ先責任者 企画担当部長 橋本 潤美  
(TEL 011-251-4112)

## 特別損益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、26年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 24,800	百万円 240	百万円 210	百万円 40	円 銭 3.28
今回修正予想(B)	26,185	239	242	303	24.82
増減額(B-A)	1,385	△1	32	263	
増減率(%)	5.6	△0.1	15.6	658.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	24,951	245	264	54	4.46

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 53,000	百万円 850	百万円 800	百万円 360	円 銭 29.48
今回修正予想(B)	53,000	850	800	620	50.77
増減額(B-A)	0	0	0	260	
増減率(%)	—	—	—	72.2	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	51,240	560	582	337	27.63

### 修正の理由

当第2四半期の営業収益につきましては、新規顧客の獲得や単価改定による增收効果などから、前回予想に対して13億8千5百万円増加する見込みです。

一方利益面では、原油価格の上昇による燃料費や航送料の負担増、ドライバー不足等による輸送コストの上昇などに加え、第1四半期は消費税増税後の反動による輸送量の大幅な減少により業績が大きく低迷したものの、第2四半期に入つてからは反動減からの復調とあわせて、新規顧客の獲得や適正運賃への単価改定効果などから、前回予測に対して営業利益は1百万円の減少、経常利益は3千2百万円の増加まで回復する見込みであります。

これらに、特別損益として、札幌通運(株)賃貸物件の売却によって発生した減損損失1億1千3百万円があったものの、札幌通運(株)における投資有価証券売却益3億9千3百万円があつたことなどから、四半期純利益は前回予測に対して2億6千3百万円増加となる見込みであります。

第3四半期以降の見通しにつきましては、グループ一体となって新規取引の開拓を強力に推し進めると共に、引き続き適正運賃への単価改定による収益性向上を図って参ります。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期の連結業績の結果から、前回発表の通期業績予想に対して、上記のとおり修正いたします。

以 上